



周南市のみなさんを
市民活動で結ぶ情報誌



市民活動とは、
営利を目的と
しない自主的な
公益活動の
ことです。

【目次】

ニュース	オンライン視察を開催しました！	(表紙)
活動レポート	周南ラテン文化クラブ	(中面)
支援センター紹介	支援センター内レイアウトを変更しました！	(中面)
お知らせ	新型コロナウイルス禍での災害・台風対策 Q&A	(裏表紙)



ニュース オンライン視察を開催しました！



今年度、公益財団法人周南市ふるさと振興財団では新たな市民活動を創出するための支援体制の検討と構築に取り組んでいます。支援体制検討の一環として、県外の優れた取り組みに対する視察をオンラインで計3回実施し、各回それぞれ約30名の参加がありました。



お話しを伺ったいちのせき市民活動センターの佐々木さん

6月26日 岩手県一関市

岩手県一関市では、地域づくりの調整・推進を担う「地域協働体」が34地区に設置されています。いちのせき市民活動センターの佐々木牧恵さんには、合併後の地域協働体の設立から現在までの支援についてお話を伺いました。継続的な話し合いと合意形成を重視した進め方、それぞれの地域の実状に合わせた支援＝選べるお品書き、情報誌を媒介にした地域との関わり方などが印象的でした。

7月2日 島根県雲南市

島根県雲南市では、子ども・若者・大人・企業のチャレンジの連鎖により課題解決先進地となることを目指した取り組みが進められています。特定非営利活動法人おっちらポの小俣健三郎さんと雲南市役所の佐藤満さんには、4つのチャレンジについて中間支援組織と行政のそれぞれの視点からお話いただきました。また、今年4月に設立された一般財団法人うなんコミュニティ財団の村上尚実さんには、人・物・お金・情報などの資源の循環により地域の課題解決の基盤となることを目指した取り組みを伺いました。



「雲南ソーシャルチャレンジバレー」のコンセプトイラスト



岡山 NPO センターの石原さんへのヒアリングのようす

7月7日 岡山県

岡山県では、岡山 NPO センター、みんなの集落研究所、みんなで作る財団おかやまなど、多様な機能を持った組織が地域課題解決の支援に取り組んでおられます。特定非営利活動法人岡山 NPO センターの石原達也さんに、ニーズに応じて充実・拡大してきた取り組みの過程のほか、災害支援ネットワークや新型コロナウイルス感染症に関する対応などについてお話をいただきました。